

## IT21の会(平成23年12月) 第157回議事録

日時：平成23年12月3日(土)12:45～17：40

場所：大橋会館2階205会議室

出席者：臨時総会 19名(会員17名、非会員2名)

モデリング研修 27名

### 配布資料

- 1112-0 CPD行事参加票
- 1112-1 IT21の会12月度例会のご案内 第2版
- 1112-2 出席者名簿
- 1112-3 IT21の会 2011年度臨時総会 会則改定決議資料
- 1112-4 モデリング研修(12/3)の目的
- 1112-5 モデ脳検定標準問題集
- 1112-6 モデ脳Introduction Guide
- 1112-7 例会アンケート

### 議題

[主テーマ]

モデリング研修

講師：富士通株式会社 プリンシパルエンジニア 吉田 裕之氏  
株式会社豆蔵 取締役 羽生田栄一氏  
東京大学 モデリング研究会リーダー 吉田 壘氏

[サブテーマ]

臨時総会(議長：中原 俊政)

### 議事

#### 1.臨時総会

##### (1)強制退会者の報告

会費の入金期限を3カ月過ぎ、督促の上入金のなかった7名につき、役員間協議の上、強制退会処分とした。

##### (2)会則改定

(a)会の名称 公益社団法人化に伴い改定一賛成多数により可決

##### (b)会費納入時期

会計細則第5条-1～5、第10条の2、第4条の2について一賛成多数により可決  
尚、改定に伴い、今期の会費の徴収は2回となる。

質問) 3/1を迎えるまでは会費の支払いを免除とした場合、

1次合格者と2次合格者の間で免除期間に差がでるのでは？

→どこに定めても差は出る。1次合格者は、今後への投資、

2次合格者は、お祝いということで納得してもらう。

##### (c)入退会手続き

入退会細則第3条、第7条 現状の処理に合わせ改定一賛成多数により可決

入退会細則第8条、第10条 処理手続きは、運用マニュアルに従うことにし、  
柔軟な変更を可能とする一賛成多数により可決

質問) 入会資格の確認は行っているのか？

→技術士会の会員であることを担当役員が確認している。

技術士会への入会と同時入会は認めている。

##### (d)外部参加者に対する例会会費徴収

地方の会員との格差が生じないように例会によっては会費の徴収を

行うことができるように、新規に設ける一修正のうえ可決

<可決された条文>

「運営役員は例会幹事と協議の上、必要に応じて例会会費の徴収を決定することができる。

ただし、1回に徴収する会員の例会会費は年会費を超えないものとする。

会員以外の参加者からは例会会費を増額して徴収することができる。

ただし、会員との例会会費額の差は年会費を超えないものとする。

尚、合宿形式の場合は、この限りではない。

また、日本技術士会の会員か否かで例会会費の差をつけてもよいものとする。」

尚、条文では細かい規定はせず、マニュアルレベルで、詳細を規定する。

1) 合宿形式とは、定義をマニュアルに記載する。

2) 会員であるか否かは自己申告とする。

総則、細則での文言の不一致の是正は、次期役員へ申し送りする。

質問) 合宿形式の意味は？

→技術士会の施設を使わない場合である。定義をマニュアルに記載する。

会員か否かのチェックはするのか？

→申込時の自己申告とする。

会員とは、IT21の会員の事か？

→IT21の会員の事である。

いつから適用できるのか？

→次の例会から可能である。

会員の方が会員外から申し込む場合どうするのか？

→自己申告で判断する。

意見) IT 21の会員であるメリットが示せるように非会員との差を明記した方がよい。

→可決時の条文に反映した。

IT21の会 2011年度臨時総会 会則改定決議資料の指摘反映版をSNSにアップした。

## 2.モデリング研修

5チームに分けて、チーム演習と発表をした。

### 2.1 モデ脳（モデリング能力）問題の解答作成演習

各チームで以下の問題の解答作成と発表をした。

- (1)「先人の教え」をモデリング（漁夫の利）
- (2)「世の中の仕組み」をモデリング（ゲリラ豪雨）
- (3)「世の中の仕組み」をモデリング（ワンセグ）
- (4)「日常の出来事」をモデリング（増え続ける赤字国債）
- (5)「日常の出来事」をモデリング（スーパー銭湯の割り引きチラシ）

### 2.2 問題作成演習

以下の問題ネタが講師から提示され、各チームで自由に選択し、問題（解答例含む）作成と発表をした。

- (1)蛇足（だそく）
- (2)モデ脳
- (3)孟母三遷
- (4)恋の駆け引き
- (5)井の中の蛙
- (6)ノーベル平和賞
- (7)北風と太陽

(3)を1チーム、(4)を1チーム、(7)を3チームが選択し、問題作成と発表をした。

### 2.3 モデリング事例発表 講師

世の中の仕組み（放射能）、日常の問題（唐揚げの1つ残し）等の発表があった。  
モデリング能力を上げるには、自分が興味あるものをモデル化し、友人に説明し、レビューしてもらうのがよい。

### 2.4 UMLモデリング推進協議会モデ脳企画委員会の活動内容の紹介 講師

モデ脳検定の問題を募集している。採用されれば、2万円相当の商品がもらえる。

問題作成のコツ

- ・問題を作成したら、誰かに解いてもらう（応募する前に実施のこと）。
- ・先人の教えは何を言っているかつかむこと。
- ・世の中の仕組みは、「なるほど感」（例えばネジレ国会）がいる。
- ・日常問題は、因果関係モデルに挑戦せよ。
- ・世の中の話は、モデル1つ（具体例）だけでよい。

## 3. 初参加者の自己紹介

自己紹介(5名)

以上

（記載者：臨時総会 平塚由香里、モデリング研修 中原俊政）